

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化会館施設整備事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	鶴巻 浩二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化会館利用者	意図	施設利用者が安全で快適に利用できる状態にする。
事業内容	施設利用者に快適で安全な施設利用を提供するため、施設整備を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度の耐震補強工事に合わせ、空調設備改修を行った、施設の老朽化が進む中、平成24年度に給水管切替工事、平成25年度に屋上防水工事、平成28年度は受変電設備更新工事を行った。平成30年度にはエレベーター更新工事を行い安全で快適な施設環境を整備した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	市民会館施設利用件数の増減率	-6.10		2.40	%
②	市民会館施設利用者数の増減率	-8.90		0.70	%	↑↑↑	当該年度／前年度－1*100
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	開設以来初めてのエレベーター更新工事であるため、利用者の安全と快適な利用を更に高めることができた。	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 文化会館は昭和44年に開館した。平成23年度に耐震工事を実施し、施設の安全性を高めた。平成28年度には受変電設備更新工事を行い、平成30年度にはエレベーターの更新工事を行い安全で快適な施設環境を整備した。
--------------------	---------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	53,105,140		22,791,440
事業費(b)(円)	51,594,840		20,682,000
うち一般財源	51,594,840		20,682,000
職員給与と費(c)(円)	1,510,300		2,109,440
人役・職員(人)	0.22		0.32
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	開設以降、更新していないエレベーターの更新工事を行う。	③取組における課題(Check)	施設が老朽化しているため、計画に位置づけて整備を進めることが大切である。
②H30に実施した取組(Do)	確定申告終了後の3月半ば過ぎに本格的に工事開始となるため、繰越明許を設定した。施設利用者への事前周知に努め、ご理解いただきながら施工した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	大工事になると休館期間も長期にわたることから、計画への正確な位置づけを行う必要がある。